

漢字の学び方

Lispridona Diner

スマラン国立大学日本語教育プログラム

ABSTRACT

The objectives of teaching kanji characters are among other things that while reading them the learners are able to understand their meaning, to know their forms and how to read them. In speed reading, thorough understanding of such writing system is obligatory. However, the students of Japanese Language Education still face difficulties in understanding such system. What they obtain is merely memorization of the characters; they are unable to read particular characters which are put side by side with other similar characters. Besides, they are also confused when learning the large number of the characters. In order to overcome the difficulties, the writer has provided a correct way of learning how to read such writing system through the following procedures: pay attention to the form of the characters (radical/bushu), pay attention to their sounds (ompu), read the characters, understand their meanings (imi) through learning them at word level (goi reberu).

要旨

漢字の学習目標は、読むときに漢字が理解できるようになることで、書くときに漢字が使えることに大別される。読むときに漢字が理解できるためには、漢字の意味を知っていること、漢字の読み方を知っていること、漢字の形が認識できること、漢字語彙の意味がかわり、文を読む際にある程度の遠さで理解することが必要となる。スマラン国立大学の日本語教育プログラムにおいて漢字学習者の場合、初期段階では漢字の形を見分けることが困難なことが多い。そこで、まず、単漢字レベルで漢字の形を提示し、意味、音と対応付けるような活動を行うことが多い。また、漢字を字源やイメージとむすびつけたりストーリーを作ったりして意味を記憶するなどの方法もとられる。漢字の学習困難を克服するため、「漢字の形に注目する方法、漢字の読みに注目する方法、漢字の意味に注目する方法、単語レベル方法」の方法を使うのがいいと思う。

キーワード：漢字、学び方

はじめに

日本語の表記には、複数の種類の文字が使われる。主な文字は、漢字、カタカナ、ひらがなであるが、ほかにローマ字、算用数字、句読点やかっこなどの記号が使われる。漢字は単位となるため、日本語の標準的である「漢字仮名交じり文」のなかでは主に実質的内容の部分（動詞や形容詞や語幹部分、名詞など）を表すのに使われる。表語文字である漢字は、文中で概念語の表記に使われるため、日本語で書かれた文章を読む際に漢字だけを拾い読みすることによって速読が可能である。また、同音義語が多い日本語において、漢字によって語を表し分けることができる利点があると言われる。一方、1文字のもつ情報量が多いことによる習得の困難さも指摘されている。

漢字の学習目標は、読むときに漢字が理解できるようになること、書くときに漢字が使えることに大別される。読むときに漢字が理解できるためには、漢字の意味を知っていること、漢字の読み方を知っていること、漢字の形が認識できること、漢字語彙の意味がわかり、文を読む際にある程度の遠さで理解ができることが必要となる。また、書くためには、適切な漢字を手やパソコンやワードプロセッサを使って産出でなければならない。学習者の場合、初期段階では漢字の形を見分けることが困難なことが多い。そこで、まず、単漢字レベルで漢字の形を提示し、意味、音と対応付けるような活動を行うことが多い。また、漢字を字源やイメージとむすびつけたりストーリーを作ったりして意味を記憶するなどの方法もとられる。スマラン国立大学の日本語教育プログラムにおいて漢字学習もそんなこともやっている。

漢字読み方と画数はたくさんあるので、漢字を勉強している際に混乱になってきた学習者が少なくない。この間に、学習者は漢字の学習で勉強の方法がしか覚えられない。漢字の授業でBasic Kanjiの本を使っている。学習者はその本だけから、勉強しているから。取

得する漢字が少ない。漢字の勉強は自分で勉強できるのに、いろいろな学び方を試すことができる。

業科目として「漢字」の時間を独立して設けたり、日本語授業の時間の中に漢字学習を組み入れたり、レベル別にテキストを指定し、定期的に到達度確認テストを行ったりした。レベル差を小さくしても、クラス内で漢字指導を行おうとすると問題が多い。漢字だけ見れば、このような学生にとっては、クラスで学んだ漢字は易しすぎる。その一方、ストラテジーの活用と豊富な語数・語彙量で読解問題はこなせるものの、漢字だけを取り出すと弱い、特に辞書を使わずに「書く」場合に問題がある学生が存在する。

ある程度学習者が進んだ段階では、部首や形声文字の音符利用が有効である。漢字の音は形よりも記憶がしづらいため、どのように記憶するかが学習者にとって大きな課題になるがとくに漢語の語彙が増え、形声文字の認識が重要である。ワードプロセッサ、パソコンが普及したため、実際の使用場面で漢字をで書くことは少なくなった。しかし、漢字の書写は、身体運動を通じて形を記憶することにもつながる。少なくとも漢字学習では正しい筆順も含めた書写の訓練が必要であろう。また、学習方法の訓練が必要である。

上記に基づいて、これから筆者は漢字の学び方を紹介する。漢字の形、漢字の読み方、漢字の意味、単語レベルの方法である。

本論

漢字の六書

志村（1990:34）によると漢字の組み立てや字義は6種類に大別され、その法則を「六書」と言う。六書とは、象形・指事・会意・形声・転注・仮借を指す。

1. 象形：物の形に似せて字形を作ったもの。{例}日、月
2. 指事：物事の間係を図示して字形とするもの。{例}下、上
3. 形音：文と文と合成して一字として、一方は意味を主して表すもの。{例}清、晴
4. 会意：二つ以上の文を合成して一字として、新しい意味と音と表すもの。
。

{例}森、林
5. 転注：漢字の構造の原理ではなく、使用法上の特徴をいうものらしい。
つまり、用

字法の一つとする説が有力であるが、定説はない。
6. 仮借：漢字の構造の原理ではなく、使用法上の特徴をいうものらしい。
他の同音・

類字音の字を借用すること。

{例}「わたし」の意味に「我」、
「そうだ」の意味に「然」、
「くる」の意味に「来」など。

漢字の特徴

日本語における漢字は字形、意味そして複数の読みに加えて、さらに意味と読みの連合である語としての用法や熟語を作る際の間語性などの情報を合わせもつ、非常に情報量の多い文字となった。

他の文字と比べて、漢字には、次5つ特性あると考える（田中、2006:387）

1. 数の多さ：語彙数に匹敵する。
2. 字形の複雑性：点画の数が格段に多く、その構成も複雑である。

3. 字形の構造的性：構成要素の並び方がある程度規則的であり、構成要素の集合から成る一定の構造をもつ。多くの場合、音読みを表す構成要素（音符）と、意味傾向を表す構成要素（意符＝部首）とから成る。
4. 多読性、類似音性：1文字が複数の読みと対応する。常用漢字1945字には1字平均1.2通りの読み方があり、音読みには、同音、類似音の漢字が数多く存在する。
5. 表語性、造語性：1文字で1語になる漢字、熟語の構成成分となる漢字、両方の用法をもつ漢字があり、意味も用法によって複数存在する場合がある。また、漢字は、使われる語や文章のジャンル、専門分野、使用場面によってその使用頻度や字体などにかなり異なる傾向が見られる。

漢字の学び方

上記の理論に基づき、つぎの通りに漢字の学び方「漢字の形、漢字の読み、漢字の意味、単語レベルの方法」を紹介する。

I. 漢字の形に注目する方法

- 1). 部首を利用する。

1)の「部首を利用する」というのは、同じ部首を持つ漢字をグループにまとめ覚えるという方法である。

- 2). 漢字の中の漢字を見つける。

2)の「漢字の中の漢字を見つける」というのは、部首にこだわらず、漢字をを分析的にとらえ、繰り返し現れる漢字の部位で独立した漢字としても存在するものを意識するという方法である。例えば「固」という漢字を「口」と「古」とに分けて捉え、既習の「古」という漢字と一緒に覚えるという方法である。この方法を個々に応用した作品は見られなかったが、例

a. の練習問題は、両者を組み合わせたものと考えることができよう。一方では、部首を、他方ではそれ以外の部位（必ずしも単独の漢字として成り立つかは問わない）を組み合わせることによって、目的の漢字を練習しようという問題である。

例a. 「雑 普 婦 根 机 晶 帯 章 棚 型」の練習

(漢字を組み立てなさい。「ただ乗り客」もいるから注意してね！)

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____
 6. _____ 7. _____ 8. _____ 9. _____ 10. _____

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 立 | 土 | 月 | 月 | 艮 | 九 | 隹 |
| 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 刑 |
| 木 | 木 | 木 | 木 | 十 | ヨ | 女 |
| 冫 | 冫 | 巾 | 巾 | 几 | 卅 | 並 |

漢字

面 合 決 求 取 雜 輕 置 美 直 型 婦 根

机 普 及 液 晶 携 帶 達 章 処 庭 棚

3). 似ている漢字を一緒に覚える。

この方法は、例えば金と舎、末と未など、字形の似ている漢字をグループにして覚えるという方法であるが、この方法一を利用した作品は見られなかった。

II. 漢字の読みに注目する方法

1). 音記号を利用する。

佐藤（2008：18）この方法は、漢字の音読みの音を表す記号、音記号を

利用した方法である。例えば「静，清，請，精」は音読みでは全て「セイ」だが，これは音記号「青」をその構成要素として持つことに起因する。このように，同じ音記号を含む漢字をまとめて学習するのは効果的である。前述の通り，この方法はこの学期に入って初めて導入されたものであったが，まだ習っていない漢字にも応用できるという便利な性格を持ち，学生も練習問題の作成の際，未習漢字を進んで取り入れるなど，積極的な姿勢が見られた。

例 b

は学習目的である「屏」という漢字のどの部分が音記号でどの部分が部首であるのかを考えさせる練習問題，例 c

は与えられた漢字群の中から3

つの音記号を探し出し，音記号ごとに漢字グループを作らせる問題である。

例 b 「屏」の練習問題（作成：がんばりや）

下の漢字群から屏の右の部分を含む漢字と左の部分を含む漢字を探して，読みを比べなさい。どちらの部分が音記号でしょうか。

尸： _____

并： _____

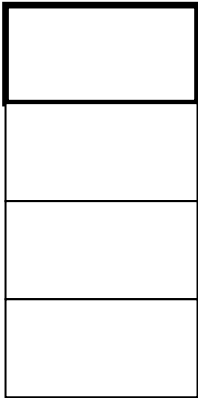
塀，瓶，併，民，展，屋，局，餅

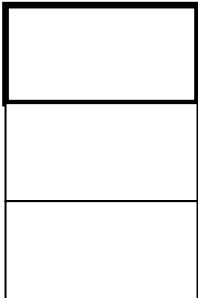
例 c 「農，際，裏」の練習問題（作成：天下一キラーズ）


（下には同じ音記号を持つ漢字少なくとも二つずつある。音記号自身もある。音記号別のグループは三つある。）

- 1) 漢字を三つのグループに分け，音記号を太枠の囲みの中に記入せよ。
- 2) 分かるかぎり漢字の音よみも記入せよ。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 裡 | 膿 | 鉄 | 察 | |
| 貴 | | | | | | |
| | 裏 | | 利 | 重 | 狸 | |
| 蔡 | | 際 | 理 | | | |
| | 便 | | | 濃 | 里 | |
| 祭 | | 独 | | | | 儂 |
| | 理 | | 農 | | 酒 | |

a. 

b. 

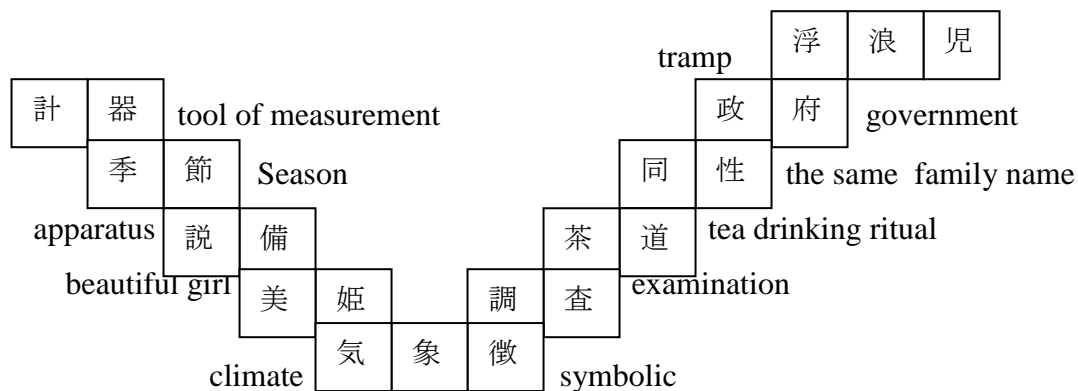
c. 

2). 同音の漢字を一緒に覚える。

この方法は、例えば正、生、世、制が皆「セイ」という読みを持つというように、同じ読みを持つ漢字をグループにして覚えるという方法である。「漢字の読みに注目する」の1)の方法と異なるのは、これらの漢字には共通の音記号がないということである（晋、2005：157）。

この方法を応用したのが例dである。各単語にはインドネシア語で意味が示されている。あまり耳慣れない単語も用いられているが、ほとんどは、既習の単語なので、純粋に漢字の読みだけに注意を向け、単語の「しりとり」練習と考えるのであれば、そんなに難しくはない。例d「季、節、象、浮、児」の練習問題（作成：お金持ち）

問題：漢字の下に読み方を記入してください。



III. 漢字の意味に注目する方法

1) 漢字の意味を絵で表す。

この方法は、漢字の基本的な意味を絵で表すことに

よって、意味を覚えやすくするという方法である。

特に漢字の語源にこだわることなく、自由に作成している。

例e 「久」と「再」の練習問題（作成：二十三わからねー）

絵と文を参考に漢字を覚えよ

咳 → 欠 → 久

老人が背負いかごをしょっている。長く時間のかかること。

再 → 再

みたところ鏡像，すべて二回分揃っている。

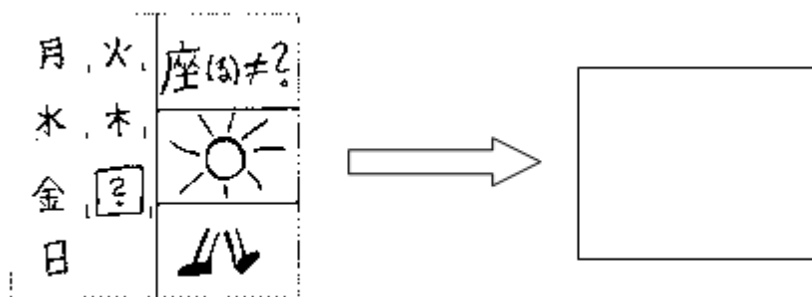
2) 上記を組み合わせる。

この方法は、漢字をいくつかの部分に分け、分けられた部分ごとに意味を絵で示すという方法である。例 f

に見られるように意味の示し方は、必ずしも象形的なものではなく、反義関係を利用したり（「座」の反対は「立」）、クイズ的な指示をしたり（月、火、水、木、金、？、日）と、創造力豊かである。

例 f 「境」の練習（作成：がんばりや）

絵を基に漢字を組み立てなさい



IV. 単語レベルの方法

1) 品詞別に覚える。

この方法は、例えば、動詞としてよく用いられる漢字、形容詞としてよく用いられる漢字というように、品詞別に漢字を分類して覚える方法である。例7gは挙げられている漢字熟語が「する」を伴って動詞となることができるかどうかを問う問題で、この方法を応用しているといえよう。

例 g 「視、覚、条、件、紹、介、致、検、識、命、灰、」の練習

この言葉の意味は何ですか。「する」といっしょに使ってもいいですか。

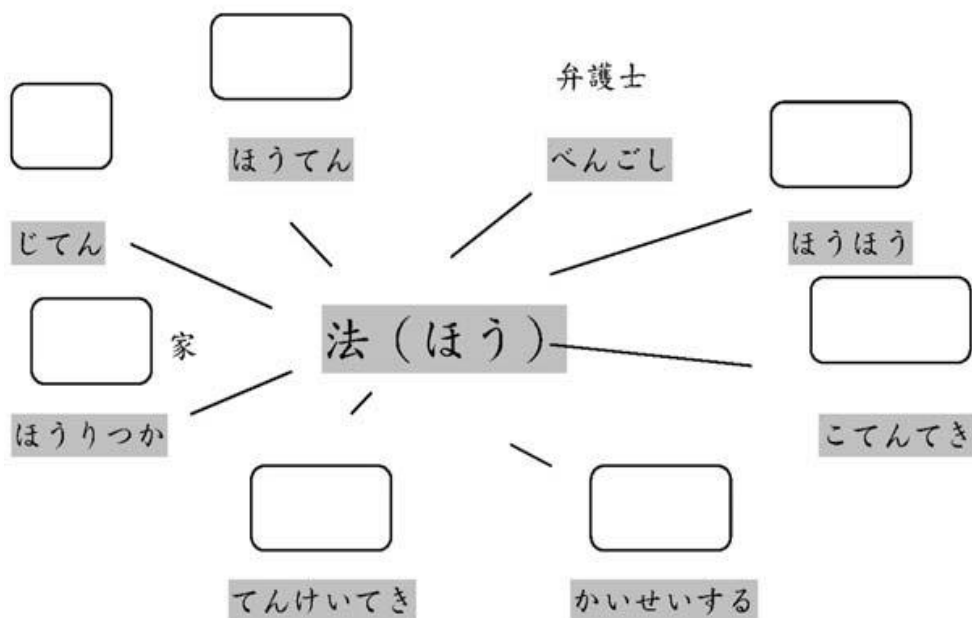
視覚 _____ 視力 _____ 条件 _____

検討 _____ 識別 _____ 懸命 _____

2) 語野を作って覚える。

この方法は、例えば家族名称の漢字、あるいは仕事名の漢字をひとまとめにして覚えるという方法である。例hに示すのはまず、読みの与えられている漢字熟語を記入し、それから「法」に関係ない言葉を削除する練習問題である（田村、2004：8）。

例h「典」の練習問題漢字を書きなさい。それから「法」の語野に属さない単語を消しなさい。



3) 類義・反義関係を利用する。

この方法は、例えば、「入」と「出」，「大」と「小」など、反対の意味を持つ漢字をペアで覚える，あるいは「考」と「思」，「答」と「応」など，似ている意味を持つ漢字をまとめて覚えるというような方法である。この方法を用いた練習問題は見られなかった（田村、2004：73）。

4) 漢字の造語力に注目する方法。

この方法は、「新、最、無、非」など熟語の語頭を構成する漢字や、「者、家、性、的」など、熟語の語尾を構成する漢字を積極的に集めて覚

えるという、漢字の造語力を利用した方法である。この方法を用いた練習問題はみられなかった。

結論

漢字の学習困難を克服するため、「漢字の形に注目する方法、漢字の読みに注目する方法、漢字の意味に注目する方法、単語レベル方法」の方法を使うのがいいと思う。

つまり、スマラン国立大学の日本語教育プログラムにおいて学習者は漢字の意味が分かり、漢字の意味が覚えやすくなり、漢字の形が覚えやすくなり、単語も増やすことができるように漢字の形に注目する方法（部首を利用する、漢字の中の漢字を見つける、似ている漢字を一緒に覚える）、漢字の読みに注目する方法（音記号を利用する、同音の漢字を一緒に覚える）漢字の意味に注目する方法（漢字の意味を絵で表す、漢字を組み合わせる）、単語レベル方法（品詞別に覚える、誤野を作って覚える、類義語・反義関係を利用する）で学習する。

参考文献

沖森卓也. 2001. 日本の漢字1600年の歴史. ベレ出版

沖森卓也. 2011. 日本の文字. 三省堂

晋田中. 2005. 日本語教育辞典. 株式会社

佐藤尚子. 2008. 留学生のための教科書. 国書刊行会

大神 智春. 2010. Basic Kanji Book Vol.1 凡人社; 第4版

村石 昭三. 2011. 漢字字典. フレーベル館; 増補改訂2版

志村良子. 1990. 漢字を学びましょう.

田村直子. 2004. 漢字学習ストラテジーを学ぶ授業: 実践報告

<http://www.gekiyaku.com/archives/2569616.html>

<http://kaki.jun.main.jp/>

